

げきだんなかま しょうかい 劇団仲間の紹介

「人間をよりよくして生かすめよ」これは1953年4月、劇団結成宣言の主文であり、以来65年間かわらぬ劇団仲間の理念です。
俳優座養成所講師から劇団仲間を主導し、1980年に急逝した中村俊一は、主催者として演出者として一貫して劇団の指導にあたり数多くの作品を創り出しました。幼少期から質の高い演劇に接することによって子どもたちの感性を高め、成人後も芝居を愛する感覚を持った人たちを増やしていこうとの狙いもあり、創立当初から児童・青少年演劇に力を入れてきました。
中村俊一亡きあともこの路線は変わらず、創立メンバーの一員である生井健夫を中心に、理解ある劇団内外の作家、演出家の協力を得て、中村時代とはひと味違った舞台を創り出すことに成功。各方面より高い評価をいただいています。

◇開催日程

| 実施日程 | 実施校名 |
|----------|-------------|
| 10月11日 火 | あさぎり町立岡原小学校 |
| 10月12日 水 | 八代市立植柳小学校 |
| 10月13日 木 | 嬉野市立嬉野小学校 |
| 10月14日 金 | 菊陽町立菊陽中部小学校 |
| 10月17日 月 | 福岡市立金武小学校 |
| 10月18日 火 | 福岡市立脇山小学校 |
| 1月12日 木 | 上越市立中郷小学校 |
| 2月1日 水 | 島原市立第四小学校 |
| 2月2日 木 | 波佐見町立南小学校 |
| 2月3日 金 | 佐世保市立世知原小学校 |
| 2月6日 月 | 長与町立長与南小学校 |

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり文化交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



令和4年度
—文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—
*児童劇*劇団仲間



げんさく
原作/ステファノ・フォン・ロー (三修社刊) 脚本・演出/鈴木雄太

「文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実践指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

☆スタッフ

原作：ステファノ・フォン・ロー（三修社刊）
 脚本・演出：鈴木雄太
 美術：角浜有香
 音楽：芳賀一之
 振付：川又真理子
 衣裳：小泉美都
 効果：金子華世
 照明：田中祐太

☆キャスト

小さい“つ”： おおわたはるな
 大和田遥奈
 と： おぐなひるかず
 小倉輝一
 こ： じへん美江
 二瓶美江
 あ： いけだまい
 池田舞
 お： 飛田晃治
 飛田晃治
 ら： 堀越ふみの
 堀越ふみの
 ん： 鎌田睦笑
 鎌田睦笑
 ま： 田中誠
 田中誠
 の： 浜谷真理子
 浜谷真理子

☆ストーリー

五十音村最大のピンチ！いや、日本語のピンチ！

ひらがなたちが集まって暮らす五十音村では自慢話で盛り上がっていました。
 そんな中、小さい“つ”は「音にならない文字なんて必要ない！」とからかわれ、
 五十音村を飛び出してしまいます。
 すると人間の世界ではおかしなことが起こりました。
 弁護士が「訴えますか？ 訴えませんか？」と言おうとすると
 「訴えますか？ 歌えませんか？」となって依頼人はプンプン。
 横綱も「はげよい、のこた」では力が入らず負けてしまい日本語は大混乱！
 小さい“つ”は五十音村に戻って来るのでしょうか？

～文字たちが贈る、
 日本語をめぐるファンタジー～



自己紹介の歌

♪あいうえおの(お)さんは元気に挨拶

「おはよう！おつかれさま！おやすみなさい！」



♪かきくけこの(こ)さんは物知り博士

「困ったときは、いつでも相談にのりますぞ」



♪たちつてとの(と)さんはシッカリ著のまとめ役

「あれとこれとそれと……皆きつと繋がれる！」



♪はひふへほの(は)さんは笑い上戸

「はははははは、ひひひひひひ、ふふふふふふ、へへへへへへ、ほほほほほほ」



♪わをんの(ん)さんは最後の最後1番後ろで一人あわあわ

「んー、まだのりいない？大丈夫？閉めちゃって大丈夫？僕で最後で大丈夫？」

